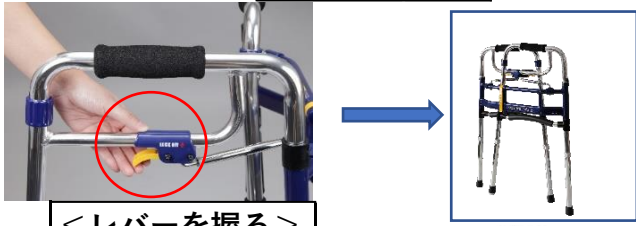


# スライドフィットEX歩行器の機能部の使い方

<折り畳み方>



<レバーを握る>

<グリップ交換>



<リングを回すと取り外せる>

<ターンバックルのナット>

<専用スパナで回す>



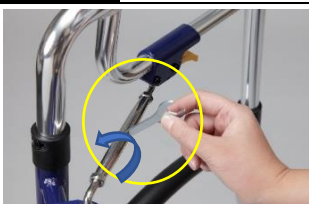
<セーフティロック状態>

<セーフティロック解除>



<ターンバックルを調節>

<フレームの角度を調節する>



<回して調整>

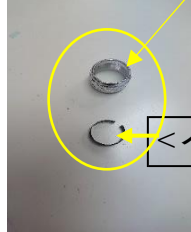
<スライド調節>



<ピンを押して横にスライド調整する>

<脚中間リング>

<しっかり締める>



<インナーリング>

<後輪キャスター>

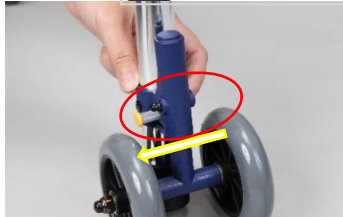
<前輪キャスター>

<直進固定位置>

<プッシュダウン位置>



<異常歩行等に効果あり>



<ストッパー効果>

<360°フリー位置>

<ノンプッシュダウン位置>



<上下肢筋力に低下が見られる方など>



<段差乗り越え等車輪として利用>

**<症状別によるフレーム角度、車輪の応用>**



(90° コの字型)

**(90° コの字型)**

症状例

- 加齢等により上肢・下肢の筋力低下の方。  
(活動量の低下や加齢による筋力の低下、  
疾病やけがによる筋力低下などで、静的  
動的姿勢保持の困難、バランス不保持時  
に踏ん張り力の低下などで転倒の危険。)

【持ち上げる事が出来る】・・・<A>脚

【持ち上げる事が出来ない】・・・<C=フ=①>脚

<C=固=②>脚、<D=フ=①>脚

- 糖尿病の合併症、パーキンソン症  
(手足感覚の鈍化、足及び足先のしびれ)

【持ち上げる事が難し】・・・<B=固=ST>脚

【 “ ” 、力が弱い】・・・<C=固=①>脚

<C=固=①>脚      <D=フ=①>脚

- 関節可動域の減少、中度の円背  
(前屈・小刻み歩行、動作緩慢、環境等)

<C=固=①>脚、<C=フ=①>脚

<D=フ=②>脚

- その他 症状や環境状況により適宜に。

**(100° ハの字型)**

症状例

- パーキンソン症候群、脊髄小脳変性症、  
(歩行時のふらつき、手足のしびれ・つま  
ずき、足底感覚の低下)

<B=固=ST>脚、 <C=固=①>脚

<C=フ=①>脚、 <D=固=①>脚



- 脳卒中後遺症、パーキンソン症候群  
(中度の片麻痺、手足の拘縮、リウマチ  
等の神経障害。)



<B=固=ST>脚、<D=固=①>脚

<C=フ=①>脚、

- 糖尿病の合併症、自律神経失調症  
(動脈硬化等による歩行困難、下肢部分  
壊疽による切除、ふらつきや歩行異常  
などのバランス障害)

<b>&lt;A&gt;ピックアップ</b>	<b>&lt;B&gt; 3”前輪・後脚</b>
	
<b>&lt;C&gt; 3” 前・後輪</b>	<b>&lt;D&gt; 4” 前・後輪</b>
	

<b>前 輪</b>	
<b>(固) (直進固定)</b>	<b>(フ) (360° フリー)</b>
	

<b>後 輪</b>	
<b>① (P&amp;D)</b>	<b>② (NON/P&amp;D)</b>
	

(100° ハの字型)



<C=フ=①) 脚、 <C=固=①) 脚  
<D=固=①) 脚、

- 変形性関節症、骨粗しょう症及び後遺症  
(痛みにより歩行困難、動作緩慢、  
<D=フ=①) 脚、 <C=フ=①) 脚
- 筋力低下でふらつきなど、適宜。  
<A>脚、 <D=フ=①) 脚など。

※ 開いたら、スライド幅を狭める等の調節必要。

(105° ハの字型)



(105° ハの字型)

症状例

- パーキンソン症候群、末梢神経障害、  
(歩行時ふらつきがきつい、真っすぐ歩けない等の異常歩行、手足のしびれ。)  
<C=固=①) 脚、 <D=フ=①) 脚、  
<B=固=ST)脚、
- 脊髄小脳変異症、頸椎症  
(手の震え、ふらつき、動作緩慢、等)  
<D=固=①)脚、 <C=フ=①) 脚
- 他・症状により脚を適宜組み合わせ。

※ 開いた角度により、適宜スライド幅を狭くすると操作し易くなります。

(90° コの字と100° (105° )  
ハの字組み合わせ型)



(90° コの字と100° (105° ) ハの字の  
組み合わせ型)

症状例

- 脳血管障害や心筋梗塞の後遺症、パーキンソン症候群、慢性リュウマチ等、他。  
(歩行運動障害、姿勢保持異常、片麻痺  
又は上肢部分拘縮の方、上肢及び握力  
バランス異常の方、四肢失調で手足を思い通りに動かさない方、痛みがある方等。)  
<D (C)= (右) 固・ (左) フ=①) 脚、  
<D (C)= (右) フ・ (左) 固=①) 脚、  
<D (C)=フ=①)脚、

(2ウェイ前輪キャスターを真逆に組合せると、内向き後輪を補い真っすぐ進め易くなる。)

※ 開いた分だけ、横幅を狭めると操作しやすくなります。

※ <フレーム角度の組み合わせは、患側を基本的に右・左部の角度を変えて調整する。>  
(利き手が操作しやすい組み合わせを選択。)

上記脚種・フレームの組み合わせはあくまでも参考です。症状に合わせて組み合わせ願います。

【Mタイプは、90° ~97° の調節です。】